

# 議会だより



**No. 131**  
2016.2.1発行

12月定例会報告	
土地利用構想を見直し、北部地域活性化を盛り込む	2
私たちは賛成・反対しました	4
町政を問う・一般質問に全議員が登壇	5
常任委員会レポート	12~13

# 土地利用構想を見直し、 北部地域活性化を盛り込む

## 第5次鳩山町総合計画の一部改定を可決



泉井地区における活性化取組方針より（イメージ）

### 第4回定例会

平成27年第4回定例会が、11月27日から12月8日まで12日間に行われ開催されました。提出された議案は、条例の制定に関するもの6件、第5次鳩山町総合計画基本構想一部改定に関するもの1件、町施設の指定管理者の指定に関するもの1件、平成27年度一般会計、特別会計補正予算の議定に関するもの3件、人事に関するもの1件の計12議案で、全議案とも可決・同意されました。

#### 第5次鳩山町総合計画 基本構想一部改定

計画策定から5年経過し、土地利用構想の見直し、北部地域活性化の推進および高齢化への対策など、現計画の見直しが必要となったため、前期5か年の評価・検証を行うとともに、第5次鳩山町総合計画の一部を改定するもの

**問**（通称）熊井の森が土地利用転換構想箇所となっているが、変更しなくても活用策を検討できるのではないか。

**答** 可能である。廃止となったゴルフ場開発地の場所については、町が点在する土地の寄附を受ける際の対応方針として、27年度までに活用方針

を定めるとしてはいたが、

具体策が決まらなかった。

引き続き活用策を検討する意思を明らかにすべきと考え、土地利用転換構想箇所と位置づけた。

**問** 一部改定とはいえず、土地利用構想など重要な問題を審議するのに、期間が短すぎるのでは。

**答** 一部改定とは、どこまで手をつけていいのかわからない側面がある。

**問** 焼却施設建設について住民の同意は。

**答** 説明会の開催等、話し合いや情報公開をしている。今後地域住民の理解を得ていきたい。

**問** 主要幹線道路として入西赤沼線の延伸をあげているが、計画を見直して、奥田地区と石坂地区を結ぶ道路を計画した方がよいのではないか。

**答** 今回の一部改定では検討や調査がされていない。今後の研究課題だ。

**問** 町営路線バスの採算性は。

**答** 採算性は低いが、空白地域解消のために必要なサービスを検討していく。

#### 〈反対討論〉

（仮称）鳩山新ごみ焼却施設建設予定地については、稼働期限が不明のままであり、北部地域活性化事業については、北部地域全体の合意ができていない。（根岸）

具体的な構想がないままに、土地利用構想を変更すべきではない。（通称）熊井の森の自然を生かした活用は、町民全体で考えていくべき問題だ。

（野田）



指定管理者を株式会社  
セイウンに指定した。  
(平成28年4月1日から  
平成31年3月31日まで)

**ふれあいセンター及び  
梅沢集会所の指定管  
理者の指定について**



施行日を前倒しして財  
源確保に努めたことを評  
価したい。  
(根岸)

〈賛成討論〉

**問** 3月から始める事業  
は何か。  
**答** 専門的なサービスを  
必要とする方を対象とし  
た既存の訪問介護事業所  
による身体介護と生活援  
助、既存の通所介護事業  
所による機能訓練等の通  
所介護である。



猪原 恵子 氏

公平委員会委員の任  
期満了に伴い、猪原恵  
子氏（鳩山町松ヶ丘在  
住）の再任について同  
意しました。

公平委員会委員に  
猪原 恵子 氏



「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議は議長

議 案	議 員 氏 名											審 議 結 果				
	大賀 広史	石井 徹	田中 種夫	松浪健一郎	中山 明美	小鷹 房義	森 利夫	小川 唯一	石井 計次	小峰 文夫	根岸富一郎		野田小百合	日坂 和久		
第4回町長提出 定例会	町がマイナンバーを利用しようとする条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	議	原案可決		
	農業委員の選挙制度を廃止して、町長が選任するための定数と農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決	
	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関し、年金制度の一元化等に基づき、文面等を変更する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	町税の執行猶予等の申請書式にマイナンバーを記載する欄を設ける条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	国民健康保険税の課税限度額を医療分、支援分、介護分とも1万円引き上げる条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決	
	介護保険事業の地域支援事業の一部を3月から繰り上げて実施する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	第5次総合計画基本構想が5年経過し、ごみ焼却場建設予定地など土地利用構想を変更する議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	議	原案可決	
	ふれあいセンター及び梅沢集会所の指定管理者をさいたま市の(株)セイウンに平成30年度末まで指定する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	平成27年度一般会計補正予算（誘致企業の建物と償却資産の固定資産税、特養ホーム用地貸付金等の歳入の追加、後期高齢者医療広域連合負担金や空き家等の調査委託料等の歳出の追加）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決
	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算（税の軽減世帯数の割り合いに応じた補助金の繰入れなど）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
平成27年度介護保険特別会計補正予算（3月から実施する介護予防・生活支援サービス事業を追加など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議	原案可決	
公平委員会委員の選任（松ヶ丘の猪原恵子氏を同意）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意		
議員提出	議員派遣について（平成28年2月9日、フレサよしみで議員全員が研修会に参加、主催は郡議長会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決		

※読みやすくするため、議案件名をわかりやすくしており、正式な議案名ではありません。

# 町政を問う!

## 一般質問 全議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は、質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。

(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

### 日坂 和久 議員

- 1. 地域防災対策について
- 2. 子ども・子育て支援事業について

### 大賀 広史 議員

- 1. 地域の防犯・安全について
- 2. 災害・雪害対策について
- 3. 福祉・健康複合施設について

### 松浪健一郎 議員

- 1. 小学校でのICT授業を提案する
- 2. 教育行政について
- 3. 新給食センターの建設計画について

### 石井 徹 議員

- 1. 交通安全対策について
- 2. まち(地域)の活性化、匂の花について
- 3. 広域静苑組合について

### 根岸富一郎 議員

- 1. 国民健康保険の都道府県化への対応を問う
- 2. 町の住宅リフォーム資金助成制度の改善について
- 3. 町の入札制度の改善について

### 田中 種夫 議員

- 1. 匂の花について

### 野田小百合 議員

- 1. 空き家対策について

- 2. 審議会等のあり方について
- 3. 若者の力をまちづくりに活かすための取り組みについて

### 小川 唯一 議員

- 1. 一億総活躍社会について
- 2. 国旗、日の丸について
- 3. 農業行政について

### 森 利夫 議員

- 1. 福祉・健康複合施設について
- 2. 県道東松山越生線・上熊井地内の歩道工事について

### 中山 明美 議員

- 1. 障害者差別解消法について
- 2. これからの英語教育について
- 3. 若者をはじめとする有権者の投票率向上の取り組みについて

### 小鷹 房義 議員

- 1. 産業廃棄物の不法投棄について
- 2. 鳩山町に「道の駅」ができないか
- 3. 「町をきれいに」等の立て看板について

### 石井 計次 議員

- 1. 指定管理者について
- 2. 町施設の改修について
- 3. (仮称)鳩山新ごみ焼却施設について

### 小峰 文夫 議員

- 1. 違反建築について
- 2. 健康長寿のまちづくりについて
- 3. 焼却場・北部開発・町営バス路線・県道整備について
- 4. 企業誘致について



日坂 和久 議員

## 防災・子育て支援

### 避難所の避難動物対策はいかがか

#### 鳩山小では未使用飼育小屋を活用

**問** 河川氾濫時避難勧告判断マニュアルが未作成だが、取り組みは。

**答** 想定外豪雨による水害が否定できないため今年度中に作成する。

**問** 住民への周知は。

**答** 出水期までに実施指定浸水想定区域はどこか。

**問** 越辺川沿いが重要水防箇所だが、他の小河川も検討している。

**問** 水防団の役割が重要だが、訓練状況は。

**答** 訓練要請はしていない。

**問** 出勤要請時の水防活動や団員自身の安全確保ができず危険だ。

**答** マニュアルを整備し、訓練をすすめる。

**問** 災害時指定避難所の鳩山小では、どこが動物避難所になるのか。

**答** 校門左手にある飼育小屋を位置づけてある。

**問** ニュータウンだけで約590頭の犬が登録されている。飼育小屋での収容方法は。

**答** 犬はおおむね外で飼われているので、小屋



豪雨で池のようなになったニュータウン内の公園

ではなく、グラウンドに困うかもれない。

**問** 来年度から実施予定の病児保育の準備態勢はいかがか。

**答** ひばりゆりかご保育園で実施できるよう、施設等の整備、職員の確保もすすめている。

**問** 町内学校のいじめの状況は。

**答** 26年度1件、27年度3件だ。

**問** 子供社会のいじめ撲滅は大人社会の義務だ。パワハラ・マタハラ等のある大人社会が有効取組を提案できるのか。

**答** 十分に検討する。

大賀 広史 議員



防災メール

防犯・防災情報のメール配信を開始しては  
配信サービスの拡充に努める

**問** 熊谷市で凄惨な殺人事件が起きた。不審者情報など町民への注意喚起への取り組みは。

**答** 西入間警察署から不審者情報が入り次第、幼稚園および各小中学校へ伝達される体制だ。

**問** 鳩山町独自の防犯防災情報メールで注意喚起等、配信してみても。

**答** 防災無線の内容を事前登録者に配信するメールサービスは行っており、今後拡充を検討する。

**問** 振り込め詐欺の発生状況はいかがか。

**答** 今年に入って3件発生している。被害金額は750万円。今後被害防止の啓発活動に努める。

**問** 再び大雪災害が発生した場合の町の対応は。

**答** 前回の経験を踏まえ、事前に関係各課で配備態勢について協議を行い、町として統一した対応を行っていく。

**問** ごみ焼却場もできる。交通量の増加に伴い、鳩山中学校周辺の県道における自転車通行の生徒



交通量の増加が懸念される中学校前の県道

への安全指導は、どのように行っていくのか。

**答** 家庭・地域と連携して交通事故防止の教育のあり方を研究していく。

**問** 計画している福祉複合施設のなかで、町が整備する施設に球技ができるようなスポーツ利用は考えられるのか。

**答** 体育館の3分の2ほどの交流スペースで、体操教室などは行えるが、球技ができるような体育館ほどの高さはない。

**問** 屋外に大きなオーブンスペースがあるが。

**答** 夏祭りやクリスマスイベントなど、ボランティアを中心に行いたい。

松浪健一郎 議員



教育行政

先進的なICTの取り組みは  
研究したい

**問** 小学校でのICT授業を提案する。教師から生徒への一方通行な授業の解消になるのではないか。

**答** 文科省の実証研究の報告では、教員はリアルタイムで児童の状況を確認でき、効率的な授業が展開できる。また、児童の思考過程の可視化ができるため、教員と児童、児童と児童のコミュニケーションの活性化につながったと報告されている。費用対効果も含めて教育のICT化を進めていく。

**問** 大事なものは、授業に集中できるように、子ども興味を引くこと。担任の先生だと飽きてくる。自学・自習できるように、端末を使用しながら先生とコミュニケーションをとるとか、授業の始まりにドリルをやって、できない子どもの正答率を把握しながら授業に反映するとか、鳩山スタイルで子どもの伸びる可能性を気づかせてくれるツールとして活用してほしい。

**答** 教育の大きな流れは、教師と子どもの双方向。子どもに様々なことを体験させて、自分の言葉で発言させる。アクティブラーニングが主流になってきている。試行錯誤も含めて研究したい。

**問** 土曜日の授業に電大の「子ども大学」のような出前講座をやって、そこに若い力、スチューデントインテリゲンシップを組み合わせてみては。

**答** 土曜授業に取り組んでいる教育委員会もあるが、実施の計画はない。

**問** スチューデントインテリゲンシップに絡めて、様々な行事を行うことは、教育効果が高いと思われる。検討・研究したい。

**答** スチューデントインテリゲンシップに絡めて、様々な行事を行うことは、教育効果が高いと思われる。検討・研究したい。

ICT：パソコンやタブレットを活用した授業  
ツール：道具  
アクティブラーニング：教師の一方的な講義でなく、学習者が能動的に参加して行う学習方法。  
スチューデントインテリゲンシップ：大学生が小中学校の授業補助や部活動指導などに参加すること。

石井 徹 議員



交通安全対策

スローガンを掲げ安全意識の高揚を

交通安全の啓発活動の参考にする

**問** 現在町では交通事故死者数ゼロを2500日継続しており、断トツ埼玉NO1、更なる継続が町のイメージアップに繋がるので、ぜひスローガンを掲げ町ぐるみで取組を考えてはいかがか。

**答** 交通安全啓発活動の一環として、この意見を参考にします。

**問** 死亡事故は無いが高齢者や自転車、路上駐車が起因で事故が頻繁に起きているがその対策は。

**答** 高齢者には、様々な集まりの機会に安全啓発チラシを配布。町外からのサイクリストについては、今後、関係部署と共に検討していく。ニュータウンの路上駐車は、苦情が発生した時のみ訪問して対処している。

町の活性化「旬の花」

**問** 特産品の販売、また鳩豆うどんをはじめ地元産の農産物を活用した飲食の提供で町にも貢献度の高い旬の花である。

営業時間の拡大、宴会場の展開などで利用の範



旬の花 営業時間10:00～17:00  
定休日：木曜日

囲を拡げることができないか。

**答** 特産品販売施設の条例や規則で決まっているが、営業時間の拡大は可能と考える。宴会場の展開は現状ではできない。

**問** 町の中心、かつ縦横に走る県道交差点にあり、主要な公共施設も隣接し好条件の中、限られた制約の多い展開では今後の発展は見られない。特産品販売施設だけにこだわらず、広く町を活性化するための中心的な施設として改革を進めるべき。指定管理者制度の展開を考えられないか。

**答** 今後、現在の運営団体とも相談し前向きに検討していく。

国民健康保険

「生活保護」基準以上の減免制度に

周辺自治体の動向を見る

**問** 国保事業が県に移行すると、財政の赤字は県の基金を借りて、返済しなければならぬと聞く。一般会計からの繰り入れができるのか。

**答** どのような仕組みになるか不明だが、その時は対応を考えたい。

**問** 町の減免規定は、「町長が認める者」の規定があいまいだが、どのように実施しているか。

**答** 個々の状況で判断している。

**問** 「保険」の考え方でなく、「福祉の心」で減免制度を考えられないか。

**答** 保険制度の均衡を損なわないよう、周辺の動向を見る。

自治体の年齢構成や健康づくりの努力を配慮して支援されることを望んでいる。

住宅リフォーム助成制度の拡大を

**問** 工事金額50万円以上や補助率5%などは、緊急に改善が必要ではないか。

**答** 工事金額は20万円に引き下げ、制度を継続する。

**問** 公契約条例の制定についての長短をどのように考えているか。

**答** 労働条件の確保で労働者の尊厳と労働意欲向上がはかられ、工期や品質が確保される。一方、労働条件の調査等は、労働基準監督署の所管など労働基準法上の課題もある。

**問** 川島町は町で賃金実態調査を行うと言っているが、鳩山町はどうするか。

**答** 川島町等の状況を見て、慎重に検討させていただく。



やりくりしても暮らしが大変、税金を安く

田中 種夫 議員



旬の花

男子従業員も採用してはどうか

運営する方々と協議していく

**問** 全町公園化の拠点にもなり得る「旬の花」の営業について現状はどのようなか。

**答** 平成16年4月より大豆で町おこしをスローガンにして、女性農業者によりスタートし、「鳩豆工房 旬の花」として「味の会」が運営している。営業方針は、地産地消を念頭に、お客様が安心して食べることが出来るお店をモットーにしている。

**問** 最近の売上実績はいかがか。

**答** 平成26年度が3483万円、前年対比93.1%、平成25年度が3743万円、前年対比106.7%となっている。

**問** 扱い品目も多くなっているが、売上構成比はいかがか。

**答** 平成26年度では店舗売上が2709万円となり、内訳では乾麺・饅頭が約60%を占め、164万円となっている。飲食物が6322万円で23%となっている。売上予測はどのよ



皆さまのご来店をお待ちしています

うに試算しているか。

**答** 今年度は、35017万円、28年度35553万円、29年度35888万円、30年度3624万円と予測している。

**問** 維持管理費について町からの補助金額はいかほどか。

**答** 施設管理費の関係を旬の花と町で分割して支払っており、26年度は町負担分が68万5千円となっている。

**問** 従業員について現在15人であるが、男子従業員も検討してはどうか。

**答** 人員体制については、今後、現場の方々と協議していきたい。

空き家対策

住民と一緒に考え検討できないか

アイデアを募るのでなく協働で

野田小百合 議員



**問** 空き家を切り口にしまちづくりについて住民と一緒に考え、検討できないか。

**答** 単にアイデアを募るのではなく、町民の皆さんと町が協働して、何ができるのか、絞り込んで質を高め、事業に取り組めればと考えている。

**問** 女性の審議会等への参画を増やすための取り組みはしているか。

**答** 町審議会公募委員要領の改定を鳩山町男女共同参画計画に実施予定の事業として盛り込んでいるが、具体的な事業はしていない。

今後、審議会等委員の女性登用比率目標が30%ということ、現状では目標に達していないことを町内外に積極的に公表し、審議会等委員の女性の参画を促すような働きかけをしていきたい。

女性登用促進要綱の制定について研究・検討していきたい。



いろいろな意見・体験発表がありました

**問** 審議会等委員の充て職を精査し、公募枠を増やしていくことを考えてはどうか。

**答** 公募委員枠を広げるという前提ではなく、審議会等のあり方について、総合的かつ継続的に見直しをしていきたい。

**問** 高校生など若者世代を対象に「鳩山の未来」について意見交換の場を作ってみないか。

**答** 若者が自分の住んでいる場所の未来について意見を述べるのは、大変重要なこと。庁内で検討したい。

高校生や大学生などにも声がけをして、「言ってんべー・聞いてんべー大会」がさらに充実するよう努力していく。

小川 唯一 議員



日章旗

3月11日なぜ半旗を掲げなかったのか

担当課間で確認不十分であった

**問** 役場北側駐車場の国旗、県旗、町旗の管理と掲揚する意義は。

**答** 警備業務の一環として警備員が降納し、宿直室に保管している。国の歴史や文化を尊重し、敬意をあらわすために掲揚している。県旗、町旗も国旗と同様な意義を持って掲揚している。

**問** 汚れているが、どの位で買い替えるのか。

**答** おおむね2年程度で買い替える。新年は、新しい国旗、県旗、町旗で迎えるようにしたい。

**問** 3月11日に半旗を掲げなかったのはなぜか。

**答** 深く反省している。指示の徹底とその後の確認を怠る事のないよう対処する。

**問** 総務省から通知があったが、忘れたということか。

**答** 担当課の責任で確認が不十分であった。お見舞の気持ちが無かったと言ったことでは決していない。

**問** 毎日見る旗に関心



1月1日から新しい旗に

がなくて、町民への目配りや気配り、心配りができないのではないかと。気配りの意識が欠けていた。

**問** オリンピックに向け、国旗の教育はどのようにするのか。

**答** 文科省からの指導は特にならない。国旗や国歌を大切に思う心を育てることは大切である。

**問** 式典で国旗に敬礼しているが、どのような思いでしているのか。

**答** 町民の暮らしを守り将来の町の発展を促す、そうした決意を新たにするとこの思いで拝礼する。

森 利夫 議員



福祉・健康複合施設

計画当初は医師が常駐する施設では

訪問診療ができる診療所を計画していた

**問** 複合施設の当初の開設目的等と現状での運営方法は。

**答** 高齢者の方が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、整備コンセプトは医療・介護の連携とした。特別養護老人ホームは社会福祉法人鳩山松寿会が、付帯施設は町が運営をし、療養通所等の医療関連はNPO法人彩西（さいせい）シングケアにお願いしたい。

**問** 最初の計画では、医師が常駐する施設を造ると聞いていたが。

**答** 協働チームが策定した整備計画案では、訪問診療ができる診療所が盛り込まれていた。

**問** 鳩山町人口ビジョンによれば、2025年に老年人口は今より約750人増えるが、その後減少し2035年には今より約100人少ない5460人と予測している。5億5000万円も借り入れをして、建設予定の施設はその頃どうなるのか。

**答** 高齢者人口は減少

しても、要介護認定率の高い高齢人口は増加する傾向なので、この施設が重要な役割を担う。

**問** 借入金による財源措置が多く、町の財政は悪い方向に向かっている。施設の建設を一時やめ、規模や時期を再検討すべき時ではないか。

**答** 厳しい状況だが、将来の事を考えて決断し、事業を推進すべきと考える。

**問** この施設が開設した後、ニュータウンふくしプラザと総合福祉センターの位置づけは。

**答** これらの施設は今まで通りの運営となる。



福祉・健康複合施設の完成予想図

中山 明美 議員



社会福祉

障害者差別解消法の目的は何か

共生できる社会をつくること

**問** 障害者差別解消法の目的は何か。

**答** 障害を理由とする差別をなくすための措置を定め、それを実施することで、障害のある方もない方も、分け隔てなくみんながお互いに人格と個性を尊重しながら共生できる社会をつくること。

**問** 対応要領の作成スケジュールは。

**答** 素案を作成し、1月中に町内の障害者団体等にご意見を伺う予定。

また、「入間西障害者地域総合支援協議会」でも意見を聞く機会を設けたいと考えている。

ご意見を踏まえて、2月に開催する鳩山町障がい者福祉計画策定・推進委員会で検討を行い、承認されれば対応要領として、平成28年3月までに決定したい。町広報やホームページに掲載し、ポスター等の作成、配布、パンフレット

を作成して適切な理解に向け周知徹底を図ってきたい。

**問** 障がい者の入学拒否は差別と出ていたが、お考えを。

**答** 鳩山町就学支援委員会、特別支援学校に就学するのが適切だと思われる児童・生徒の場合、その結果を校長や保護者に説明する。最終判断は保護者の判断であると丁寧に伝えることを大原則としている。

鳩山町では、障害に際して特別支援教育支援員を町費で配置して、十分な教育が受けられるような配慮をしている。児童・生徒、保護者の要望を十分に聞いて教育にあたっていきたいと思う。



お互いに人格と個性を尊重しながら共生できる社会を

小鷹 房義 議員



町内活性化

鳩山町に「道の駅」ができないか

北部地域活性化等を見据えていく

**問** 鉄道や国道のない鳩山町に地域活性化の手段のひとつとして「道の駅」ができないか。

**答** 「道の駅」は、地域と外部の交流の場としての役割と同時に、地域の人々の就労の場としての役割も担うようになってきた。例えば茨城県の常陸太田市の「道の駅」では、農産物直売所・加工所・交流施設の他に、農業体験圃場を併設して新規就農者や定年帰農者等を支援している。また、鳥取県日南町では、商業拠点となる「道の駅」に高齢者住宅や定住促進住宅を併設し、ここを中心としてデマンドバスで診療所や保健センター・役場・図書館等と連絡できるまちづくりを行っている。しかし、これらの設置を考えると設置費用や管理費用が多額となる。

**問** 北部地域活性化の一つの取り組みとして、農産物の直売所は設置できるか。

**答** 今回策定した上熊井地区活性化取組方針に

は、農産物直売施設事業を位置づけて、新たな商業施設、地域経済振興の拠点施設として整備を目指している。なお、現時点では農産物直売施設の具体的な機能や運営体制等は決定していない。

**問** 町内での産業廃棄物等の不法投棄監視体制はどのようになっていくか。

**答** 生活環境課職員等による不法投棄防止パトロールやシルバー人材センターに委託してのごみ不法投棄監視清掃業務。監視カメラの設置、不法投棄防止看板の設置、環境保全委員の方をはじめとする町民の方々からの通報となる。



小川町 道の駅にある和紙をすく人形

石井 計次 議員



シルバー人材センター

剰余金額はいくらか

補助金の見直しなどを検討

**問** 町とシルバー人材センターで「覚書」を交わした経緯がある。なぜ覚書を交わす必要があったのか、その背景を伺う。

**答** シルバー人材センターの剰余金は年々増加し、平成22年度が過去最高の4320万円。これをもとに、補助金等に関する覚書を交わした。

**問** 覚書とは、正式契約がなされる前に基本条約を定めるもので、契約書と法的に差異はないと考えるが認識を伺う。

**答** 法的拘束力に差異はないと考える。

**問** 現在の剰余金の残高を伺う。

**答** 平成26年度末の剰余金は3612万円。

**問** 適正と思われる額を伺う。

**答** 1200万円から2000万円の剰余金が適当と考える。

**問** この質問の趣旨は会員の皆さんの意見、要望に對しての投資や労働環境の整備に向けて頂きたい。このことについて町の考えを伺う。



街路樹の剪定 シルバー人材の皆さん

**答** 今年度は覚書から5年目の節目に当たる。町の補助金の見直し等も必要かと思う。さらに検討して協議していきたい。

社会福祉協議会

**問** 数字が示すとおり、町からの補助がないと事業運営は成立しない。財源構成を確認しながら使途を明確にしておく必要があると思うが、いかがか。

**答** 社会福祉協議会の事業は年々増加している。再度、補助金の内容を精査し、連携しながらより良い福祉施策を展開していきたい。

違反建築

違反建築の土砂が崩れたが

二次災害を起こさないよう指導する

小峰 文夫 議員



**問** 県道ときがわ坂戸線沿いのプレハブ住宅の違反建築の土砂が崩れて、下の土地に流れているが、どのような指導をしているのか。

**答** 赤沼地内県道ときがわ坂戸線沿いの東側高台に建てられたプレハブ建物は、違反建築であり、この土地の造成は平成27年1月22日に、無許可で造成を行っているとの情報により、状況の把握をして、指導をした。9月9日の大雨により崩落し、事業者には二次災害の防止の措置として、敷地内の雨水排水処理の見直しを行うよう指導した。山側からの雨水流束対策として、幅約2メートル、長さ約10メートルの雨水を浸透させる穴を掘り、トレンチを設置した。

**問** 県道ときがわ坂戸線は通学路となっており、教育総務課を通じて学校への連絡や、現地の地主の了解をいただき、崩落箇所に柵を設置させた。



違反建築の崩落現場

いて、今後どのように指導していくのか。

**答** プレハブが建てられている場所は市街化調整区域であり、プレハブや基礎の有無にかかわらず、建築物を建てることは規制されている。なお、都市計画法及び建築基準法等の関係法令に抵触した建物であり、行政としては都市計画法及び建築基準法を所管する川越建築安全センター東松山駐在所と連絡を取りながら今後も継続的に指導していく。

# 視察研修報告

10月21・22日に2つの委員会合同で新潟市と群馬県上野村に行ってきました

## 総務産業委員会

群馬県多野郡上野村の6次産業施策について研修を実施しました。

上野村では95%以上が森林で、手つかずの大自然が残る緑豊かな森の里で、村内には、関東一の清流『神流川』が流れており、その源流域は平成の名水百選（環境省指定）にも選定されています。

人口は1315人（平成27年6月1日現在）で、そのうち238人が、1ターナー者（定住者）です。

昭和30年代までは、木材の搬出や木炭の生産も盛んで、山仕事に従事する人が多く、養蚕やこんにやく、椎茸、ナメコ栽培など隆盛でした。

しかし、林業は廃れ、農業も地形的条件から生産性に劣り、山林や畑地の荒廃が進み、農林業の振興は大きな課題となり、昭和43年にイノブタの生産を始めました。

## 行政と関係事業体、生産農家が一体となり、「地域内6次産業化」を推進



現地施設にて説明を受ける

**イノブタ**は、イノシシのオスとブタのメスの交配により生まれます。イノブタ本来の味を出すために一代交配にこだわっているそうです。非常に神経質で、ストレスが大きく影響するため、飼育環境には細心の注意をしています。

通常の餌に加えて、大麦を与えることで、甘くおいしい脂肪が作られ、飼育期間を長くし、成長させることで、風味豊かな味わいの肉が作られ、こだわりの上野村の美味しいイノブタ肉が生産されています。

### きのこセンター

平成25年3月には、椎茸を生産するきのこセンターを完成させました。

椎茸栽培は、菌床製造から発生まで、水のコントロールが重要なポイントになるため、神流川源流域の水を専用水道で取水して、恵まれた自然環境を最大限活かしています。年間売り上げ目標3億円、また年間生産量500トンをめざして、こだわりのきのこを栽培しています。



収穫間近の菌床シイタケ

### 十石味噌

昭和55年頃より上野村農業協同組合が、自家製味噌のノウハウに独自の工夫を加え、味噌の製造を行ってきました。平成8年には新工場が完成し、十石味噌と名付けられ、最も売れる特産品となりました。

上野村では米がとれないため、麦が主食、副食に活用され、その麦文化の代表的なものが味噌です。厳選した国内産大豆と大麦を原料として、手間かけた本格派の麦味噌です。

**6次産業化**という言葉が生まれる前から、上野村では上野村農協などと連携して、農産加工を振興してきました。

味噌、漬物、惣菜、ジュース、レトルト、菓子など、あらゆる加工が行える態勢が整えられています。

上野村では、行政と関係事業体、生産農家が一体となり、「地域内6次産業化」を進めていました。（小峰）

## 上野村

### 各議員から

こんな感想が…

視察研修報告書からピックアップしました

● 学ぶべきことがたくさんあった。国からの補助など財源確保ができれば立派な施設建設は不可能と思った。

● 定住対策がすばらしい。

● 国県からの補助金の活用が卓越している。

● 林業の取り組み、しいたけ栽培、特産品の開発、行き届いた住民サービス、Uターン・リターナー者の増加に納得。

● バイオマス発電、そのエネルギーを利用した取り組み。本町でも独自に何かできないか。

● 元気のある自治体をもっと視察することで、わが町の強みをもっと研究して、町が活性化するように取り組んでいきたい。

● 特産品をブランドイメージ化して売上を伸ばす努力を全村あげて取り組む姿勢に、感銘を受けた。

# 常任委員会レポート

## 福祉文教委員会

新潟市港南区にある亀田  
西中学校のランチルームに  
て視察研修を行いました。

新潟市の学校給食は、中  
学校57校中28校がスクー  
ルランチ方式を採用、セン  
ター方式は20校、自校方  
式は9校あります。  
ランチルームは、各学校  
に整備されています。

は **スクールランチ方式の目的**

- ① 自分の健康とそれに適した食生活を自己管理できる能力を育てる。
- ② 楽しく、くつろいだ雰囲気のもとで会食をし、豊かな心を育てる。
- ③ 仲良く会食する中で、個性を認め合い、尊重し合う好ましい人間関係を育てる。



## 弁当持参、メニューを選べる

### スクールランチ方式の学校給食

#### 給食のメニューを選ぶ

メニューは、ランチメニュー2種とボックスメニュー2種の4種類があります。

市の栄養士から標準献立表が送られ、それを基に民間調理会社（3社と随意契約）と打ち合わせをして作りあげています。3社の民間会社は、校外に調理施設を持っています。

給食を食べるためには、メニューの中から選んで5日前までに予約機にかかけます。

10日又は20日分ずつのプリペイドカードで購入します。

予約機はコンピュータリ化していて、メニューごと、月日ごとに食数が把握されます。

**Lunch NEWS** 平成27年12月号  
（第152号）新潟市教育委員会

12月のランチメニュー

**なぜは予防が肝心！**  
お肌は人に体もあたためてくれるおこぼれやあかき、あたたかい肌を育てていますか？  
お肌は人に体もあたためてくれるおこぼれやあかき、あたたかい肌を育てていますか？

たんぱく質は髪に対する  
抵抗力を高め、保ち留めて  
くれます。

ビタミンAは、眼やのどの粘  
液を多くしてウイルスの侵入  
を防ぎます。

ビタミンCは、免疫力に  
対する抵抗力をつけ、  
ウイルスを撃退します。

野菜・いも類・くだものを  
食べよう！

肉・魚・大豆などを  
しっかり食べよう！

色の濃い野菜を食べよう！

**スクールランチ 12月のピックアップメニュー**

12月のスクールランチメニューのテーマは「冬至メニュー（しっかり食べて冬を乗り越え）」です。  
今年の冬は12月22日です。冬は1年で最も乾燥がひどい時期です。昔からこの日には「お粥」  
に入るなど、乾燥にたいする食習慣がありました。江戸時代の中期からは「お粥」を  
食べて乾燥を防ぐようになったとされています。冬に野菜が少なくなり、ビタミンが不足しがち  
になるのを予防する。冬の人の健康に配慮します。ACメニューでは「お粥チャレンジ」をBメニュー  
では「お粥チャレンジ」を予定しています。皆さんもぜひ食べて冬を乗り越えましょう。

12月のランチメニュー

新潟市教育委員会発行

地産の食育  
毎日、生産地など表示しています。



## 新潟市

#### 給食用は特上米使用

市は、地元産米を大切に  
して、給食用は特上米を毎  
日という標準献立にしてい  
ます。

その他の農産物等は県外  
から大量に入荷できるとの  
ことで、給食用基準を設  
けて、給食委員会等の要望  
にも応えています。

弁当併用の給食であり、  
毎日の食数は、予約機を使  
うので5日後に決定するこ  
とになり、それから食材を  
発注することになっていると  
のことです。（根岸）



- ランチルームにおいて、楽しい雰囲気の中で食事をすることは、子どもたちの絆を強くすると思つた。
- スクールランチ方式の導入は難しいだろうが、鳩山町においても質の高い給食の提供、バラエティー豊かな楽しい取り組みも検討したい。
- 自由で楽しい雰囲気を感じろを受けた。
- 安心して食べられる環境を整えていきたい。
- スクールランチ方式は楽しそうで良い。
- 鳩山では、対象人口・予算経費等を十分に検討する必要がある。
- 子どもたち・保護者にとつても素晴らしい給食制度と思つた。
- バラエティーのあるランチを、弁当持参の生徒とも一緒に食べるので多様性を尊重する心を育むと感じた。

# 議会クイズ

## (応募方法)

●正解者の中から抽選で、5人の方に図書カード500円分を差し上げます。

●クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

130号の当選者5人の方  
おめでとうございます！

- 赤 沼石井百合子様
- 石 坂田島 朋子様
- 今 宿小峰 ふみ様
- 小 用金子 一江様
- 楓ヶ丘高崎 芳美様

★前号の正解  
①□ ②ハ ③ハ

## みなさんに読まれ

## 議会活動が伝わる「議会だより」に

11月30日に埼玉県町村議会議長会主催の議会広報研修会に行ってきた。そこで議会報の意義と編集技術を学んできました。

『議会だより』は、住民と議会の信頼をつくる大切なものです。

『議会だより第129号』をクリニック診断していただきました。

議会だより編集委員会



●議事公開のページがやや詰まりすぎ。プラス1〜2頁で内容の充実を。

●小見出しや写真の配置で読者の視線を誘導したい。

●もっと住民が登場する企画を検討してはどうか。

●などアドバイスをいただきました。

これまで工夫・改善してきたところは、きちんと評価していただきました。

更なるレベルアップができるよう努力してまいります。

## 編集後記

話題になった戦後70年の平成27年も終わり、新しい一年がスタートしました。

今年(平成28年)西暦2016年・昭和91年・大正1005年・皇紀2676年・丙申そして平成28年です。

そして3月、あるいは4月から新しいスタートを始める多くの人たち、おめでとうございます。

少子高齢化が叫ばれている中ですが、素晴らしい人生を歩んでください。

(田中)

## お詫びと訂正

130号において、坂戸地区衛生組合町負担金を、2億9610万円としましたが、2億2200万円の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

## 第131号編集委員

- 委員長 野田 小百合
- 委員 根岸 富一郎
- 委員 小峰 文次
- 委員 石井 計夫
- 委員 中山 明美
- 委員 中野 史夫
- 委員 大賀 史夫

## 表紙の写真

昨年11月、鳩山幼稚園にて開催されました。(主催：はとやま子育てネットワークくくるくー)山村短大生が作成したアートアクションなど、たくさん遊びコーナーがあり、笑顔と歓声がいつぱいの一日でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

## 次回3月定例会は 3月1日(水)から開催予定です

● お願い・陳情は2月22日(月)17時までに出してください。

● 議会ホームページから音声配信をしています。

● 音声配信速報版もぜひご利用ください。翌日(休日を除く)から配信されます。



●鳩山町議会ホームページは「鳩山町議会」で検索してください。

平成28年2月1日 発行

(〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸184番地16)